



あかね文庫お話しの会 おひさまだより



絵本アンケート

“ボランティアのKさんに ききました、好きな絵本”

『スーホの白い馬』 大塚勇三／再話
赤羽末吉／画 福音館書店

好きな絵本がたくさんあって、選ぶのに困りました。楽しい絵本も好きだし、ちょっと悲しいお話も好きです。ずっと本棚に置いてあるのはモンゴル民話の『スーホの白い馬』です。貧しい羊飼いの少年スーホが、生まれたばかりの小さな白い馬と出会います。スーホが大切に育てた白い馬は立派に成長します。その後のストーリーは絵本で読んでいただくとして……。少年スーホと白い馬の心通う描写に心うたれる場面が多くあります。広いモンゴルの草原でスーホが奏でる物悲しい馬頭琴の音色が絵本から聞こえるようです。

赤羽末吉さんの絵による、モンゴルの楽器、馬頭琴の由来を伝える民話絵本です。大判で横長の画面いっぱい描かれた広大なモンゴルの平原の絵は圧巻です。スケールの大きい物語をたっぷりおたのしみください。



えほんの紹介

「なぞなぞえほん1. 2. 3」

中川李枝子文 / 山脇百合子絵
福音館書店

なぞなぞには昔話やわらべ歌のように昔から伝わってきたものがたくさんありますが、この本のなぞなぞは、おなじみの『ぐりとぐら』のコンビのお二人が作ったゆかいななぞなぞです。なぞなぞのことばは詩のように調べがあって、やさしく問いかけています。絵がヒントで、子どもの身近なものばかりです。子どもが一生懸命考えている時間をゆっくり待ってあげてください。ことばから湧き出すイメージから、思いがけない答えがでてくることもあります。では、本の中から一つ。「ふしぎ ふしぎ あかちゃんがねむくなる おかあさんのおまじない」(3のまき)な～んだ？ もう一つ。「ひらくと おはなしがはじまって とじるとおしまい」(1のまき)なんでしょう？

小さなおともだち

絵本大好き！

プレイルームに、2歳半のSちゃんのお母さんが「絵本よんでもらえますか？」といらっしやいました。「はい喜んで行きます。どんな本が好きかな？」との会話の後、Sちゃんの好きだと言う本を抱えて部屋に入りました。

「ontan」「やさいのおなか」「おにぎり」「ぐりとぐらのおきやくさま」と、どの本もSちゃんは目をまん丸にしてじっと聞いてくれました。Sちゃんを抱っこしながら一緒に聞いてくださったお母さんも「ほら楽しいねえ」と笑顔になられ、読む方も嬉しい時間でした。

後で「きんぎょがにげた」の本を部屋にお持ちすると「あっ、Sちゃんの大好きな本です」とお母さん。しばらく一緒に楽しんでもらおうと部屋に置いてきました。好きな本との出会いは小さな感動の一瞬ですね。